

# 小学校第2学年 学級活動指導案

日時 平成16年9月29日(水)5校時  
児童 北上市立黒沢尻西小学校 2年3組  
男子13名 女子14名 計27名  
指導者 教諭 菊池 節子

1 題材名 もっと本をすきになろう  
活動名 どくしょまつりをしよう

## 2 題材について

### (1) 題材について

本題材は、学級活動の「(2) 日常の生活や学習への適応及び健康や安全に関すること。」の「学校図書館の利用」を内容としている。読書をすることで知識が豊富になり、心も豊かになると考える。本題材は、「どくしょまつり」でおもしろかった本の紹介や読書クイズ等を行うことで、進んで読書に取り組もうとする気持ちを高めることができるものである。日常生活の中から問題に気づく力をつけさせ、その問題を自分たちで解決していこうとする意欲がもてる題材である。

### (2) 児童の実態

本学級の児童は、本を読むのが好きで喜んで本を読んでいる。しかし、実際には本の内容をじっくり読むというよりは、挿絵をながめたり興味のある部分だけを読み、すぐに別の本を手にとるといったことの繰り返しをしている傾向がある。また、1学期は学校図書館のシステムが変わったために図書館の開館が遅れ、本にふれる機会が少なかった。そのため、ふだんから図書館に通ったり、本を借りて読んだりするということが学校生活の中に組み込まれていない児童が多い。

話し合い活動においては、朝・帰りの会、日直などの1年生の時から取り組んでいるものは、自分たちで進行することができる。また、輪番制で行っている計画委員会の活動を楽しみにしている児童が多い。しかし、学級会の経験が少なく、学級会までの流れや計画委員会などの初めての取り組みには十分に慣れていない。そのため、話し合いがうまく進まないことも多い。また、話し合いの中で提案理由に着目して意見を話したり、友だちの意見と比較しながら話したりすることはまだできていない。

### (3) 指導について

本題材の指導にあたっては、日常の読書指導との関連を考慮しながら、本は好きだが図書館に足が向いていないという実態をしっかりとらえさせたい。その上で、本係からもっと本を好きになるために「どくしょまつり」をしようという提案をするように働きかけていきたい。そして、その提案を受けて児童による自主的な話し合い活動がもてるようにしていきたい。最終的には、話し合いで決まったことが実際の集会活動に活かされ、自分たちで作り上げた会という意識をもたせ、学級全体としての高まりがみられるようにしたい。

本題材をとおり、学級会までの流れや学級会の進め方に慣れていくことができるように、計画委員会の活動に積極的に取り組ませたい。そして、学級活動プリントを活用して自分の意見もち、意欲的に意見を話すことができる児童に育てたい。自分たちで計画した「どくしょまつり」で、自分の役割をやり遂げることにより達成感や喜びを味わわせていきたい。

## 3 題材の目標

日常生活の中から読書に関わる問題に気づき、話し合いや学級集会をとおして読書のおもしろさに気づき、今まで以上に読書に親しむことができるようにする。

## 4 題材の活動計画と評価規準

### (1) 活動計画

活動過程	日時	場所	活動内容	参加主体	教師の支援
事前	問題の発見 提案	9/21(火) 朝学習	これまでの読書の状況について、振り返る。	全員	・読書についてのアンケートを実施する。 ・アンケート結果を集約し、資料を作る。
	議題の整理 ・選定・決定	9/21(火) ～9/24 (金)		教師	

事前	学級会への準備	9/24(金) 昼休み 放課後	学習室	提案者を決定する。 実施計画を作る。 1 係分担 (司会・議長・黒板書記・ノート書記) 2 話し合いのめあて ・自分の考えをはっきり話そう。 3 話し合いの柱 ・「どくしょまつり」でしてみたいこと 4 資料準備(学級活動プリント) 学級活動プリントに自分の考えを記入する。	計画委員	・計画委員の児童の意見を聞きながら、実施計画を立てるようにする。 ・提案者が問題やわけを分かりやすく提案することができるように、一緒に提案文を考える。
	学級会の予告	9/27(月) 帰りの会	教室		全員	・書いた内容に目を通し、朱書きによりどの子も発言できるようにする。
話し合い	話し合う	9/29(水) 5校時 学級活動(本時)	教室	これまでの読書の状況について知る。 もっと本を好きになるために、「どくしょまつり」でどんなことをしたいか話し合う。	全員	・これまでの読書の状況をグラフにして提示し、図書館をあまり利用していなかったことに気づかせる。 ・提案理由を意識した話し合いができるようにする。
		9/30(木) 朝学習	教室	「どくしょまつり」で自分がしたいことを選び、決定する。	全員	・自分が本当にしたいと思うものを選び、グループを作ることができるようにする。
事後	実践の準備	9/30(木) 放課後	学習室	「どくしょまつり」の役割分担任をする。(司会、はじめ・終わりの言葉等) 発表の練習をする。	計画委員	・計画委員の児童の意見を聞きながら計画を立てるようにする。
	実践	10/5(火) 5校時 学級活動	教室		全員	・どのグループも準備・練習がしっかり行われるようにする。
		10/8(金) 3.4校時 学級活動	教室	2年3組 「どくしょまつり」をしよう	全員	・協力して実践できるように支援する。 ・一人一人の活動を認め励ます。
		振り返り	10/8(金) 帰りの会	教室	活動や取り組みの反省をする。	全員

(2) 評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
今まで以上に読書に親しもうとする意欲をもつことができる。	日常生活の中から読書に関わる問題に気づくことができる。	読書について自分の考えをもって話し合い、学級集会を行うことができる。	読書のおもしろさに気づくことができる。

5 本時の指導

(1) 目標

これまでの読書の状況を振り返り、「どくしょまつり」でどんなことをしたいのかを考えて、自分の意見を話すことができる。

(2) 展開

段階	活動の流れ	児童の活動内容・予想される反応	教師の支援(は評価の観点)
導入 8分	1 これまでの読書の状況を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グラフを見て、これまでの読書の状況を振り返る。</li> <li>・これまでの読書で何がよかったか、これから頑張った方がよいのはどんなところかを発表する。</li> </ul> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本が好きな人が多い。</li> <li>・たくさん本を借りている人がいる。</li> <li>・あまり本を借りていない人がいる。</li> <li>・図書館からもっと本を借りたほうがいい。</li> </ul> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの読書の状況が分かるグラフを提示する。</li> <li>・本は好きだが、あまり図書館から借りていないという実態をつかませたい。</li> <li>・グラフを提示しながら足りない部分は補足説明し、全員が理解して考えていけるようにする。</li> </ul> <p>これまでの読書の状況を振り返り、問題に気づくことができたか。</p>

